

法政大学校友会 スポーツ強化支援 陸上競技部支援についての提案書 2019

法政大学陸上競技部

監督 荻部俊二

駅伝監督 坪田智夫

テーマ「法政大学陸上競技部 箱根駅伝総合優勝を目指す」

本学陸上競技部は、2019年第95回東京箱根間往復大学駅伝競走において、総合6位（往路5位、復路6位）に入り、3年連続のシード権獲得を果たしました。3年連続のシード権獲得は、第80回～第82回大会（2004-2006年）以来13年ぶりとなります。この近年の躍進は、法政大学校友会様をはじめ多くの大学関係者のご支援、ご声援の賜物です。改めて御礼申し上げます。

法政大学は箱根駅伝に1921年、第2回大会から出場し、95回大会中79回の出場を誇る伝統校です。79回の出場は92回出場の中央大学、88回日本大学、88回早稲田大学に次いで4番目に多い大学です。出場79回のうち、往路優勝1回（1931年）、復路優勝（2006年）が1回ありますが、総合成績では3位が最高順位であり、総合優勝は果たせていません。

現在、本学陸上競技部は、上位をうかがう大学の一つとして認知されるようになってまいりました。この機を逃さず、悲願である総合優勝へ向け、継続した強化していかねばなりません。近年の大学駅伝における強化には多大な活動資金が必要となります。本学陸上競技部も校友会様をはじめ関係者のご支援を頂戴しておりますが、活動資金は十分ではありません。そこで、本年も引き続き、校友会様のご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

本学陸上競技部は校友会の皆様とともに箱根駅伝を戦っていく所存です。つきまして、2019年のご支援につきまして、以下の駅伝強化策に基づいてご検討いただきたくお願いいたします。

1. 目標

2018年箱根駅伝総合7位→結果：6位

2019年箱根駅伝総合5位→結果：6位 3年連続シード権獲得

2020年箱根駅伝総合5位、全日本大学駅伝もしくは出雲駅伝総合3位

2025年までに総合優勝

2. 選手強化

陸上競技部では、年間夏3-4回（妙高、菅平、富津）、冬1回（沖縄：短距離）の合宿を実施しております。1回の夏合宿に200万ほどかかります。

夏合宿1回分のご寄付をご検討いただけますでしょうか。

3. スカウティング

有望な高校生を獲得するため。

学業の奨学生と並行し、スポーツ奨学生の制定をご検討いただけますでしょうか。

校友会様にはいただいた寄付金の用途の報告、選手監督の会員様へのご挨拶ができればと考えております。また、箱根駅伝本戦後（1月3日）の慰労会へのご参加も引き続きお願いいたします。